

北海道の 学校図書館

発行 北海道学校図書館協会
会長 小熊 剛彰
事務局長 山口 朱美
<https://hokkaido.sla.gr.jp>
印刷所 株式会社有伸商會
TEL (011) 814-6211

北海道学校図書館協会 2025年度(令和7年度)の活動始まる

2025年度（令和7年度）の定期総会は、5月10日（土）に北海道立道民活動センター（かでる2・7）520研修室を会場に開催されました。御来賓の皆様を代表して、道立図書館長の岸本亮様より御挨拶いただきました。北海道学校図書館協会の役員改選が行われ、新任の小熊剛彰会長、再任の山口朱美事務局長をはじめ、役員が選出されました。（詳しくは3頁の役員一覧をご覧ください。）事務局校は、札幌市立福井野小学校に設置されます。



◆ 2025年度（令和7年度）研究・事業活動計画 ◆

(1) 研究活動

1. 第46回北海道学校図書館研究大会・帯広・十勝大会の準備・協力【令和7年10月24日から25日】
2. 第64回北海道図書館大会の開催・協力【令和7年9月11日（木）～12日（金）】
3. 第57回北海道学校図書館研修講座の開催【令和8年1月6日（火）～7日（水）】
4. 各支部及び関係機関（読進協・全国SLA・道立図書館等）との協力研究
5. 全道研究部長会の開催【令和8年1月6日（火）～7日（水）】
6. 事務局研修会の開催【必要に応じて随時開催】
7. 全校読書活動や朝読書、学校図書館の活用を推進している実践校の把握と情報交流の推進
8. 『実践資料集 学校図書館☆学び方の指導ワークシート集』の活用
9. 北海道地区セミナーの開催検討（支部研究会を拡大して）

(2) 組織・運動活動

1. 全国SLA機関誌『学校図書館』の購読、普及促進 SLBAの加入促進と活用普及
2. 支部組織強化と道事務局（幹事）拡大の取り組み
 - ・支部研究会・研修会、その他研究会への講師派遣
 - ・全道への情報発信・提供
 - ・道事務局（幹事）の組織拡大
3. 各支部間の情報交流（広報・ホームページ・全道研究部長会など）
4. 機関紙『北海道の学校図書館』330号～333号4回発行
5. ホームページの効果的な運用と情報交流の促進
6. 「子どもの読書活動推進計画（第5次計画R5～R9）」実体化のための活動の展開
7. 司書教諭の配置促進と図書館担当者の組織化
8. 「読書の時間」を活用するなど読書活動の推進

9. 「朝読書」の啓発・普及

10. 学校司書の実態調査と配置拡大の要請に関する取組
11. 「学校図書館図書整備費」の完全消化のための活動の展開、全国パンフレットの活用
12. 学校図書館への新聞購入の取組

(3) 普及・事業活動

1. 第71回青少年読書感想文全道コンクール、第51回北海道指定図書読書感想文コンクールの開催
2. 第37回読書感想画中央コンクール・第13回読書感想画全道コンクールへの参加・開催
3. 令和7年度版読書感想文集『北海道の読書』の発行・普及
4. 優良図書選定研修会 毎月2回（札幌市教育委員会 3階入札室）
5. 毎月の優良図書の紹介（令和7年4月～令和8年3月）
 - 「夏休みにおすすめする図書」選定・紹介
 - 「冬休みにおすすめする図書」選定・紹介
6. 令和7年度版『こどもたちに読んでほしい200冊』（北海道青少年育成協会）の普及
7. 第51回北海道指定図書の普及、第52回北海道指定図書の選定

(4) 協賛・協力活動

1. 第53回中学生作文コンクール審査協力（事務局・6地区）
2. 第47回全道高等学校図書研究大会（高文連）空知支部への協力
3. 優良出版図書の推薦
4. 公共図書館・および図書館に関わる各種文化行事等への協力・援助
5. 優良児童図書展示会への協力（トーハン、シービーエス、学協など）
6. トーハンブックフェア2025年への後援

会長就任挨拶

価値観や教養を共有できる場としての学校図書館を

北海道学校図書館協会会長 小熊剛彰

(札幌市立札苗中学校校長)

この春に行われました定期総会におきまして、前任の新津智哉会長の後任として北海道学校図書館協会の会長を拝命いたしました。誠に微力ではございますが、これまで当会を運営されてこられた関係の皆様の御理解と御協力をいただきながら、職務を遂行していく所存ですので、よろしくお願い申し上げます。

さて、今年度で創立75周年を迎える当会は、学校図書館の充実と発展を図り、教育の振興に務めることを目標としており、10月24、25日には第46回北海道学校図書館研究大会 帯広・十勝大会の開催を予定しています。更に、2026年8月10～12日に予定している第45回全国学校図書館研究大会 札幌大会の開催に向けて拡大運営委員会を立ち上げて、日本全国の皆様をお迎えするべく準備を進め、秋には第1回実行委員会を予定しています。隔週で選定部を中心に行っている選定会では、『こどもたちに読んでほしい200冊』（北海道青少年育成協会）の入替や優良図書の紹介を行っております。毎日新聞社北海道支社様と共に主催している青少年読書感想文全道コンクールや北海道指定図書読書感想文コンクール、及び読書感想画コンクールでは、例年応募作品の中に全国で表彰されるような力作があり、道内の学校の先生方や司書教諭、学校司書の皆様の御指導、御協力にたいへん感謝しているところです。

私は学級担任をしていた頃に、身近に本のある環境を作りたいと思い、教室にいわゆる学級文庫を設置していました。置いてあるのは、本であればなんでもいいというようにあえて多種多様なジャンルにしました。自分が面白いと思う本を、生徒が面白がって読んでくれただけではなく、時々その本が欲しいという申し出もありました。その際には惜しまず、その本をあげることにしていました。私がいいと思った本を子どもがいいと思ってくれることがうれしかったからです。その本の内容について語り合うこともありました。このように、読書活動は多くの人と関わるきっかけにもなります。お互いの価値観や、教養を共有できる喜びを、本を通して多くの子どもたちに経験しいと思います。そして、そのためのターミナルとして、学校図書館が大きな役割を果たしていくと、私は思っています。今後とも、学校図書館が子どもたちの確かな学びや豊かな心を育み、そして人と人をつないでいく場となりますよう、何卒、皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

○第57回北海道学校図書館研修講座に参加して

時代に合わせた姿、利用者から求められる姿を学ぶ

札幌市立新陵中学校 教諭 佐藤周平

大学在学中に司書教諭の資格を取得し、これまでの勤務では図書館の担当をさせていただく機会がありました。新型コロナウイルス感染症の流行を経験し、教育の姿が大きく変化しました。学校図書館に関わるところでは、学校とICTとの関係が深くなり、また、子どもたちの活字離れはよりいっそう深刻になったと肌で感じていました。講座では、図書館の「時代に合わせた姿」、「利用者から求められる姿」を学びたいと思い、初めて参加をいたしました。

野口先生の共通講座では「ベストミックス」という言葉を鍵に講演が進みました。「学校図書館」、「ICT」と2つの言葉を並べると、どうしても難しい話題に感じていたのですが、先生のお話のなかで、「学校図書館というセンターで、そのメディア（アナログ・デジタル問わず）をどう扱えばよいのか。」というように課題を整理しながら考えることができました。

佐藤広也先生の講座は、アニメーションという観点からさまざまな切り口で活動をしました。先生は私の小学校時代の恩師として、20年という時を経ての再会でした。講座では、小学生の当時に私が体感したワクワクする気持ちを得ることができました。この経験は、学校図書館という枠を超え、教師として、子どもたちが胸を躍らせる教育をしていきたい、しなくてはならないと心新たにする機会となりました。

浅村先生の講座は、交流を通して読書活動の活性化に向けて多くの手法を学ぶことができました。そのなかで、「この単元でこの活動を挟むと、小学校のこの学習にもつなげられそう。」といった校種や教科などを横断した考えを深めることができました。

討議では、武井先生の実践をもとに討議をするなかで、「自分の授業にこの取り組みを取り入れてみよう。」と得た知識を教科指導のなかで活用していきたいと思いました。

2日間の研修を通して、授業づくりでよく言われる「わかる・できる・楽しい」を子どもたちが学校図書館利用の際にも感じられるよう整備・運営すること、そして教職員の活用機会の充実が今後ますます大事だと考えました。今回は本当にありがとうございました。


2025年度（令和7年度）北海道学校図書館協会役員

役職		氏名		所属学校名	
会長		小熊剛彰		札幌市立札苗中学校	校長
副会長	小澤俊樹	札幌市立幌西小学校	校長		
中大矢俊明	札幌市立北白石中学校	校長			
高梅澤諒	市立札幌啓北商業高等学校	校長			
高文連図書	北海道札幌月寒高等学校	校長			
札幌市	札幌市立西岡中学校	校長			
監査小柴田博人	札幌市立発寒西小学校	校長			
中市川恵幸	札幌市立啓明中学校	校長			
高宮田佳幸	市立札幌新川高等学校	校長			
理事長	松尾奈美樹	札幌市立発寒東小学校	校長		
理事研究選定	佐藤敬子	北海道教育大学札幌校	講師		
	大島孝子	(元小学校 司書教諭)			
	渡部浩士	聖ミカエル幼稚園	特別支援コーディネーター		
	羽毛靖恵	札幌市立二条小学校	教頭		
	三浦裕子	札幌市立八軒東中学校	教頭		
事務局長	山口朱美	札幌市立福井野小学校	教頭		
次長	野村邦重	SLA学校図書館スーパーバイザー	元校長		
事業・選定	大久保雅人	SLA学校図書館スーパーバイザー	元校長		
	齋藤昇一	(元中学校 校長)			
研究	本間聰	札幌市立藤野南小学校 サポーター	教諭		
総務	村山知成	札幌市立美香保小学校	教諭		
総務部	部長(兼)	村山知成	札幌市立美香保小学校	教諭	
研究部	部長	山田佳子	札幌市立平岡公園小学校	司書教諭	
	副部長	本間由美	札幌市立向陵中学校	司書教諭	
	副部長	浅村麻姫子	札幌市立星置中学校・光陽中学校	学校司書	
選定部	部長	七條亜樹	札幌市立前田北小学校	司書教諭	
	副部長	佐藤やすみ	(元小学校 教諭) 稲積小サポーター		
	副部長	河合美乃里	札幌市立大谷地小学校	司書教諭	
事業部	部長(兼)	岡師広光	北海道月寒高等学校	教諭	
	副部長(兼)	加藤孝志	小樽未来創造高等学校	司書教諭	


2025年度（令和7年度）北海道学校図書館協会役員

支部	会長	勤務先	事務局長	勤務先	勤務先電話
札幌市	米田朋弘	札幌市立西岡中学校	校長	須藤慎也	札幌市立石山緑小学校
函館市	石川朋美	函館市立駒場小学校	校長	新沼誠子	函館市立大森浜小学校
小樽市	佐川聖明	小樽市立潮見台中学校	校長	高木理絵	小樽市立望洋台小学校
岩見沢市	桐潤則行	岩見沢市立光陵中学校	校長	堀部健彦	岩見沢市立光陵中学校
滝川市	小林晃彦	滝川市立江陵中学校	校長	鹿糠昌弘	滝川市立江陵中学校
空知地区	澤口純一	岩見沢市立日の出小学校	校長	古閑亮子	南幌町立南幌小学校
旭川市	藤本友紀	旭川市立西御料地小学校	校長	三谷海広	旭川市立西神楽小学校
士別市	岩間博樹	士別市立糸魚小学校	校長	浅野潔裕	士別市立糸魚小学校
増毛町	嶋本敏幸	増毛町立増毛中学校	校長	町田朋子	増毛町教育委員会
網走市	畠山治夫	網走市立網走小学校	校長	大平博司	網走市立網走小学校
紋別市	石川晃生	紋別市立渚滑中学校	校長	稻葉果穂	紋別市立渚滑中学校
大空町	佐藤拓也	大空町立東藻琴中学校	校長	吉村由紀子	大空町立東藻琴中学校
美幌町	長崎祐紀	美幌町立東陽小学校	校長	妹尾洋美	美幌町立東陽小学校
室蘭市	平石崇広	室蘭市立天神小学校	校長	長野加奈恵	室蘭市立地球岬小学校
苦小牧市	井村友美	苦小牧市立泉野小学校	校長	鈴木祐亮	苦小牧市立明野小学校
帶広市	鈴木宏和	帶広市立緑丘小学校	校長	杉林卓	帶広市立明和小学校
十勝地区	緑川昌浩	音更町立緑南中学校	校長	増岡英寿	中札内村立上札内小学校
十勝地区高校	奥野淳一	帯広北高等学校	校長	閔谷朝香	帯広北高等学校
釧路市	森口暢宏	釧路市立芦野小学校	校長	佐藤雅史	釧路市立美原中学校
余市支部	大山敏広	余市町立大川小学校	校長	小川康和	余市町図書館
余市支部	吉田貴	余市町立沢町小学校	校長	秋元秀樹	余市町図書館

2025年度(令和7年度)北海道の先生がおすすめする本

北海道指定図書

小学校低学年部(1・2年)



なんていいひ

リチャード・ジャクソン／文、スージー・リー／絵
東直子／訳 小学館 1,980円

雨が降る中、子どもたちは大はしゃぎ。雨が止むにつれ、辺りが色々と色づいて包まれ…。「美しい一日」を描いた一冊。



チョウになりたい

マルク・マッシュキン／作・絵 吉井 知代子／訳
金の星社 1,760円

チョウになっている自分が好き。それをからかう子どもたちもいて嫌になることもあるけど、パパが応援してくれているから…。



くじらのいるこみち

塙野 米松／文 はた こうしろう／絵
農文協 1,650円

住宅街の外にある土の道。近所に越してきたゆかちゃんはこの道が大好き。雨のあと、水たまりにたくさん魚があわらわでて…。



ぞうのうんちはまわる

重松 順佐／文 しろべこり／絵
新日本出版社 1,540円

4頭ぞうのうんちは量は1日でなんと400キロ。うんちはたいひにかえて、動物園には緑がしげり、野菜が育つ。

小学校中学年部(3・4年)



いつも仲間といっしょ エナガのくらし

東郷 なりさ／作 江口 欣照／写真
文一総合出版 2,200円

エナガは身近な公園でも見られる五百円玉ほどの重さのかわいい小鳥。ちょっと変わった暮らしをのぞいてみましょう。



動物の義足やさん

沢田 俊子／文 講談社 1,650円

作った装具は3匹分。専門家がない中、動物のための義足づくりにチャレンジしてきた島田旭緒さんの活動をご紹介!



タケシのせかい

室井 滋／文 長谷川 義史／絵
アリス館 1,650円

秘密の箱を開けるとパパからの手紙が。いろいろな人がそれぞれを認め合うことに気づく。「ウェルビーイング」の絵本。

小学校高学年部(5・6年)



ブルーラインから、はるか

林 けんじろう／作 坂内 拓／絵
講談社 1,540円

ほとんど話したこともない後輩からの頼みは、「しまなみ海道」をチャリで渡りきること。夏を駆け抜けける青春ロードノベル!



ぼくとロボ型フレンド

サイモン・パックム／著 千葉 茂樹／訳
あすなろ文房 1,980円

过度の心配性や不登校の児童の気持ちがリアルに描かれ、彼らが演劇を通して成長していく感動の物語。



ぼくたちのことをわすれないで ロビンギヤの男の子 ハールンのものがたり

由美村 奈々／作 鈴木 まもる／絵
佼成出版社 1,650円

故郷のキャンマーで迫害を受け、隣国パングラデシュの難民キャンプに暮らすロビンギヤの人びとの現状を伝えます。

中学校の部



わたしは食べるのが下手

天川 栄人／作

小峰書店 1,760円

会食恐怖症と損食障害。二人の少女がたどり着いた正しい“食”との向き合い方とは。わたしたちが望む給食って何だろう?



光の粒が舞いあがる

蒼沼 洋人／著

PHP研究所 1,430円

母子家庭で何事にも打ち込めない心愛と、父子家庭でボクシングにしか打ち込めないこはく。出会いと成長の青春小説。

北海道の本を読みましょう!

第71回 青少年読書感想文コンクール 第51回 北海道指定図書読書感想文コンクール

■主催／北海道学校図書館協会・毎日新聞社北海道支社

■後援／北海道・北海道議会・北海道教育委員会・公益財団法人北海道青少年育成協会 ■選定協力／北海道読書推進運動協議会

感想文は夏休み明けに、学校に出してください。詳しくは、「応募のきまり」をご覧ください。 ●ホームページ 北海道学校図書協会 検索



第46回北海道学校図書館研究大会帯広・十勝大会のご案内

研究主題：「読書の喜びを知り、自ら学ぶ力を育てる学校図書館」

1. 主 催：公益社団法人全国学校図書館協議会 北海道学校図書館協会 帯広市学校公共図書館研究会
帯広市教育研究会図書館教育部会 十勝管内教育研究サークル協議会十勝学校図書館サークル
北海道学校図書館協会十勝地区高校部会
2. 主 管：第46回北海道学校図書館研究大会帯広・十勝大会運営委員会
3. 後 援：文部科学省 北海道教育委員会 帯広市教育委員会 音更町教育委員会
十勝管内教育委員会連絡協議会
帯広市校長会 十勝小・中校長会 北海道高等学校長協会十勝支部
十勝管内特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会 帯広市特別支援学級設置学校長協会
帯広市教頭会十勝管内小中学校教頭会 帯広市教育研究会 十勝管内教育研究サークル協議会
帯広市小中学校文化連盟
4. 大会日程：2025年（令和7年）10月24日（金）～25日（土）
5. 会 場：帯広市立啓西小学校 帯広市立帯広第一中学校 IN THE SUITE（交流会）
6. 記念講演：あべ弘士氏（絵本作家、アートスペース「ギャラリープルブル」運営）
7. 参 加 費：5,000円
8. 大会事務局：第45回北海道学校図書館研究大会苫小牧大会運営事務局
〒080-0043 帯広市西13条北7丁目1 帯広市立帯広第一中学校
運営事務局長：芹澤 拓哉
電話0155-34-3939 Fax 0155-34-7638
E-mail hokkaido.library@gmail.com

帯広・十勝大会運営委員長挨拶

第46回北海道学校図書館研究大会帯広・十勝大会に向けて



帯広・十勝大会運営委員長 鈴木 宏和

(帯広市立緑丘小学校長)

帯広・十勝大会の開催まであと5ヶ月を切りました。

これまで「読書の喜びを知り、自ら学ぶ力を育てる学校図書館」を研究主題とし①読書活動の推進②学校図書館を生かした学びのあり方の追求③ICT機器を活用した情報活用能力の育成をテーマに研究実践を積み重ねてきました。

今大会の研究の目玉は、「学校図書館活用教育に関する単元指導計画」の作成とその活用です。「教育課程単元一覧表」と「学びの指導体系表」の項目をリンクさせた計画表を作成し授業を展開することで、年間の見通しをもち、単元で育てたい力がより意識され、指導者・学習者にとって、目標が明確となった実践ができるという仮説の下、取り組みを進めてきました。

運営面のテーマは、持続可能な大会の実現です。今大会は、開会式、全体会をWEBでの事前配信とし大会日程を短縮しました。1次案内、2次案内については、紙ではなくメールにデータを添付し道内関係機関に送付することにしました。併せて、委嘱状や派遣依頼、指導案やセッションの資料、研究収録についても、全てメールやHPを活用しペーパーレスで行います。この取組の成果・課題については、大会参加者へのアンケートにて明らかにしていきたいと思います。

大会は、10月24日（金）に帯広市立啓西小学校、帯広市立帯広第一中学校で小中それぞれの授業公開、授業分科会、提言分科会を行い、18時30分からはイン・ザ・スイートにて交流会を行います。25日（土）には啓西小学校を会場にセッション、記念講演、閉会式を予定しています。記念講演には元旭山動物園の飼育員で「あらしのよるに」等の代表作で知られる、あべ弘士氏をお招きしております。

1学期末には、2次案内を北海道教育庁十勝教育局様経由で、メールにて関係機関に送付する予定です。道SLAのHPにも掲載していただきますので、ご注視いただければ幸いです。

果てしない大空と広い大地の帯広・十勝で、学校図書館を中心に据えた研修と交流を深めていきたいと考えています。皆様のご参加をお待ちしております。

●第57回北海道学校図書館研修講座に参加して

「子どもたちが読書に親しんでほしい」

東川町立東川小学校 司書教諭 丸田直美

子どもたちに読書に親しんでほしい、もっと図書館を活用してほしいという思いで、今年、7年ぶりに学校図書館研修講座に参加させていただきました。

野口武悟先生の講演「GIGAスクール時代の学校図書館」では、児童の学習活動に効果的なデジタルコンテンツがたくさんあることを知ることができたとともに、指導する立場として様々な情報に敏感になること、情報の活用に柔軟に対応していくことが大切だと改めて感じました。

2日目の「読む気にさせる仕掛けづくり」の交流では、子どもたちが読書に親しむことができる活動がたくさん紹介されました。説明を聞いているだけでもわくわくして、すぐにでもやってみたいと思う活動ばかりでした。また、参加された方同士で学校や公共図書館で行っている活動を紹介し合い、皆さんのアイディアに感心しました。ぜひ、学校に持ち帰って実践し、子どもたちに読書の楽しさを伝えたいと思うと同時に活動を広げるためには、教職員に活動が子どもたちにとってその活動が意義のあるものであることや魅力を伝え、理解や協力を得ることが必要であることも感じました。

その他にも、佐藤廣也先生の講座「つくって楽しむアニメーション」では、実物大の鳥獣戯画を見せていただき、自分が知っている「鳥獣戯画」は全体のほんの一部であることを知りました。そこから、一つの物語を様々な手法で読んだり、調べたり、体験したりすることで読みが深まり、より物語を楽しく読むことができると思いました。

2日間、本を通じてたくさんの情報を得ることができました。今回学んだことを子どもたちが読書に親しみ、活用できる図書館になるように生かしていきたいと思います。参加させていただきありがとうございました。

第71回 青少年読書感想文全国コンクール**課題図書**

	著者名	書名	出版社	定価(税込)
小学校低学年	さかとくみ 雪作	ライオンのくにのネズミ	中央公論新社	1,760 円
	山本悦子 作 平澤朋子 絵	ぼくのねこポー	PHP研究所	1,430 円
	リンダ・サラ 作 ベンジー・ディヴィス 絵	ともだち	ひさかたチャイルド	1,760 円
	しらいすみこ 訳			
	松橋利光 文・眞	ワレワレはアマガエル	アリス館	1,870 円
小学校中学生年	おくはらゆめ 作・絵	ふみきりベンギン	あかね書房	1,870 円
	ジェニー・ロブソン 作 もりうちすみこ 訳	バラクラバ・ボーイ	文研出版	1,540 円
	黒須高嶺 絵			
	キム・ファン文 チョン・ジンギヨン 絵	たった2℃で…：地球の気温上昇がもたらす環境災害	童心社	1,980 円
	ピクター・ベルモント 絵と文 金原瑞人 訳	ねえねえ、なに見てる？	河出書房新社	1,793 円
小学校高学年	志津栄子 作 末山りん 絵	ぼくの色、見つけた！	講談社	1,650 円
	ジーン・ウィリス 作 山崎美紀 訳	森に帰らなかつたカラス	徳間書店	1,760 円
	エヴァン・グリフィス 作 多賀谷正子 訳	マナティーがいた夏	ほるぶ出版	1,760 円
	オザワ部長 著	とびたて！みんなのドラゴン：難病ALSの先生と日明小合唱部の冒険	岩崎書店	1,650 円
中学校	天川栄人 作	私は食べるのが下手	小峰書店	1,760 円
	ヴァルシャ・バジャージ 著 村上利佳 訳	スマムに水は流れない	あすなろ書房	1,760 円
	竹内紘子 著	鳥居きみ子：家族とフィールドワークを進めた人類学者	くもん出版	1,540 円
高等学校	名取佐和子 著	銀河の図書室	実業之日本社	1,870 円
	ヴィーラ・ヒラナンダニ 著 山田文 訳	夜の日記	作品社	2,420 円
	金原瑞人 選			
	五十嵐大 著	鳥居きみ子：家族とフィールドワークを進めた人類学者	紀伊國屋書店	1,760 円

第71回 青少年読書感想文全道コンクール

第51回 北海道指定図書読書感想文コンクール

1 ● 目的

- (1)北海道に住む青少年に広く読書を奨励し、明日の社会を背負うにふさわしい人間の育成をはかる。
- (2)読書は、人間形成に寄与する部面が多くあり、このことから読後に自分を考えさせ、自己の生活の充実をはかり、豊かな心情の育成につとめる。

2 ● 主催

北海道学校図書館協会・毎日新聞社北海道支社

3 ● 後援

北海道・北海道議会・北海道教育委員会・
公益財団法人北海道青少年育成協会

4 ● 応募資格

満20歳（2005年4月2日以降出生の者）までとする。

5 ● 対象図書

- (1)自由(読書)——自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションを問いません。
- (2)課題(読書)——[課題図書]公益社団法人全国学校図書館協議会が指定した図書
- (3)指定(読書)——[北海道指定図書]主催者の指定した図書

6 ● 区分

- (1)小学校低学年の部（1、2年）
(2)小学校中学年の部（3、4年）
(3)小学校高学年の部（5、6年）
(4)中学校の部
(5)高等学校の部

7 ● 応募締切

- (1)各支部締切 2025年夏休み明けから9月中（支部毎に設定しますので北海道学校図書館協会のホームページを必ずご確認ください）
(2)北海道締切 2025年10月1日（水）必着

※自筆の応募作品で、最終まで審査を行います（返却はしません）。お手元にコピー等をとられてから、ご応募ください。

----- (キリトリセン) -----

第71回 青少年読書感想文全道コンクール
第51回 北海道指定図書読書感想文コンクール

応募票

応募箇所に○ 自由 課題 指定

感想文の題名								
（キリトリセン）	所属	（ふりがな） 学校名 (正式名称で)	北海道 （ 立）	郡 （ 立）	市町村 （ 立）	学校所在地 ・担当者名 (電話番号は市外局番) (も記入してください)	(〒 — — (TEL — — (FAX — —) (担当者名))	
	応募区分	小低・小中・小高・中・高（学年）		生年月日・年齢	年 月 日生（歳）			
	応募者	（ふりがな） 氏名			書名			
	対象図書	著者・編者・訳者 画家(絵本のみ)			シリーズ名・文庫名	発行年・税込価格 判型・ページ数	発行年	税込価格
感想文執筆に際し 参考にした資料の有無 (どちらかを○で囲んでください)		有 ・ 無	(参考にしたものとのタイトル、HPアドレス、ページ等、具体的にくわしく記入してください)					

※わかりやすく楷書で書いて作品の上にとじてください。

※応募票が不足のときは、これと同じものを作ってください。

応募のきまり

2025年度(令和7年度)

8 ● 字数

①400字詰原稿用紙使用、校名等記入されたものを使用しないこと。②小学校低学年800字以内、小学校中・高学年1,200字以内、中学校・高等学校2,000字以内、③句読点1字、改行のための空白箇所は字数として数える。④規定の文字数に達しない、字数の少ない、短い作品は道審査では対象にはなりません。制限字数いっぱいに書いてください。

9 ● 応募作品

(1)各対象(図書)ごと一人1点未発表のもの。複数作品応募可。在籍学校を通じ(校内審査後)市、町、地区各支部に提出のこと。支部の確認等はホームページでご覧ください。(6月以降、今年度の支部明記)北海道学校図書館協会で検索ください。

(2)支部のない場合は、直接北海道学校図書館協会へ。
支部からの応募には点数枠があります。直送の場合にも厳選の上、ご応募ください。

送り先=〒007-0807 札幌市東区東苗穂7条1丁目1-1
親展 札幌市立札苗中学校 校長 小熊剛彰
TEL011-783-1027 FAX011-783-8160

(3)作品は自筆のこと。

(コピーは不可、自筆不可能な場合は理由を添える)

(4)必要事項を応募票に記入し、作品の右上にとじる。

(5)作品(原稿用紙)には、ますの外に感想文の題名のみを記入し、直接文を書き出すこと。学校名、学年、氏名等を書かないこと。

10 ● 入賞発表

- (1)支部——10月中旬に各支部ごとに発表
(2)全道——11月中旬、受賞者、該当校校長、各支部に連絡
12月上旬、新聞発表等

11 ● 表彰式

2025年12月7日 日曜日 特別賞・学校賞の受賞者
於：札幌市内ホテル

12 ● その他

応募作品には必ず応募票(全国の様式に準ずる)をつけること。応募票には、必要事項をもれなくはっきりと記入すること。(本人、保護者が記入する)応募票の児童生徒氏名は正しい表記で。(入賞の際、その字で賞状を作成します)

※お預かりした個人情報は本事業以外の用途には使用しません。

学校図書館情報

■令和7年度北海道学校図書館協会 定期総会開催

5月10日（土）に、北海道立道民活動センター（かかる2・7）520研修室を会場として、北海道立図書館の岸本亮館長様をはじめとするご来賓（北海道教育庁生涯学習推進局、北海道高等学校PTA連合会、トーハン北海道支店、日本出版販売北海道支店、図書館ネットワークサービス、北海道ブックシェアリング、北海道図書館研究会）の皆様、全道各地から5支部（札幌、小樽、苫小牧、帯広、十勝）、役員、幹事など約40名が参加して、令和7年度定期総会が開催されました。

事務局・総務部・研究部・選定部・事業部の各活動報告及び今年度の活動計画案、会計決算・監査報告、さらに、今年度予算案、本協会会則、研究大会規定について、また、新役員の選考におきましても承認されました。

協議の中では、今年度10月24日（金）～25日（土）に行われる第46回北海道学校図書館研究大会帯広・十勝大会の内容、来年に迫った第45回全国学校図書館研究大会（札幌大会）の構想について報告と提案がなされました。

また、今年度もご来賓の皆様から近況等を含めてご挨拶をいただき、北海道教育庁の長岡様からは、「北海道こどもの読書活動計画」<第五次計画>の概要、北海道立図書館の伊勢様からは学校向けサービスについて情報提供をいただきました。

今後も一層綿密な連絡体制づくりを進めながら、関係各位、各支部会員とのつながりを深めていく所存です。皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

■令和7年度「子どもたちに読んでほしい200冊」リスト

選定部による選定作業の努力の結果、新たに52冊の入替えができました。北海道青少年育成協会から6月中旬に、道内すべての学校・公共図書館・教育委員会等に配付されます。北海道の子どもたちにぜひ読んでもらいたい良書のリストです。図書購入の際に参考としてご活用いただき、普及についてのご協力をお願いいたします。

■「北海道指定図書」の普及・活用を！

「北海道指定図書」の学校図書館での購入を広げましょう。読書感想文コンクールの課題図書と一緒に購入し自校の図書館に備えることで、読書感想文コンクール応募への意欲喚起につなげてください。北海道のどこの学校図書館でも、「北海道指定図書」を読むことができる環境づくりをぜひお願いいたします。

■第53回「中学生作文コンクール」への応募を！

このコンクールは、中学生として未来社会のあるべき姿や将来の生き方などを考えてもらうことにより、健全な心の育成を図ることを目的としています。今年のテーマは「○○が存在しない世界」です。応募要項はHBCから発送となります。応募期間は7月1日～9月17日。表彰式は1月に全道5か所で行われる予定です。多くのご参加をお願いします。

事務局

事務局長 山口 朱美（札幌市立福井野小学校教頭）

事務局校 札幌市立福井野小学校

〒063-0012 札幌市西区福井6丁目11番1号

TEL 011-664-6551 FAX 011-661-9471

Amenity B-Coat

本の破損や汚れを防ぎながら、抗菌効果を発揮するブックカバー「アメニティBコート」
ポリプロピレンフィルムのため、燃焼時にも
塩素ガスなど有害物質が発生せず、安心です。
ご指定の上ご愛用下さい。

キハラ株式会社

〒062-0035 札幌市豊平区西岡5条3丁目8-15

T E L (011) 857-3331

F A X (011) 857-5211

◆ 新刊紹介

『図書館のゆるゆる人生質問箱 中高生の悩み、質問、雑談に、 図書館員がお応えします！』

著 北海道斜里町立図書館

発行 ワニブックス

2025年4月刊

1,430円（税込）

ISBN 978-4-8470-7537-7



道東・斜里町にある斜里町立図書館。中高生の来館増に向け、匿名の交流掲示板「YAコミュ板」を設置したところ利用者が増加！これをもとに、書籍「図書館のゆるゆる人生質問箱」が出版され、各種メディアにも取り上げられました。「地球が逆回転になることはありますか？」

「毎日、寝ても寝ても眠くて困っています。」

などなど、中高生からの様々な質問に、ゆるくありながらも、図書館職員が大真面目に回答をしています。

9月11日（木）札幌サンプラザにて開催される「北海道図書館大会」では、この本の出版にあたった、斜里町立図書館 松井卓哉館長の講演を聴くことができます。併せて、おすすめします。

編集後記

本校の開放図書館司書をしてくださっている保護者の方が、漫画の本を置いてほしいとの要望が多いのだけれど…。と、悩んでいました。永遠の課題のひとつでしょうか。今年度も、各事業を展開してまいります。引き続き皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

（編集：村山 知成 野村 邦重
大久保 雅人 山口 朱美）

—ホームページアドレス—

<https://hokkaido.sla.gr.jp>